

日本刑法学会第101回大会プログラム

【第1日】6月3日(土)

総会 (9:30~9:45)

大隈講堂

研究報告 (9:45~12:45)

大隈講堂

「相互闘争状況における正当防衛の処理基準」	中央学院大学	木崎 峻輔 氏
「刑法における手続化」	香川大学	天田 悠 氏
「証人尋問における対面の意義」	中央大学	中村 真利子 氏
「国際組織犯罪対策における刑事規制」	南山大学	橋本 広大 氏

休憩 (12:45~14:00)

共同研究 (14:00~17:30)

分科会Ⅰ「刑罰論の新動向」

大隈講堂

「企画の趣旨」	(司会) 早稲田大学	松澤 伸 氏
「刑罰と『コミュニケーション』」	関西学院大学	中村 悠人 氏
「『自由』のための自由刑」	東京大学	瀧川 裕英 氏
「刑罰における『感情』と『害悪』」	早稲田大学	松澤 伸 氏
「『現実』と『常識』に根ざした刑罰論」	前橋地方検察庁	清野 憲一 氏

分科会Ⅱ「平成28年刑事訴訟法改正とその後の課題」

大隈小講堂

「企画の趣旨」	(司会) 慶應義塾大学	佐藤 隆之 氏
「供述証拠の収集と被疑者取調べ」	神戸大学	宇藤 崇 氏
「供述証拠の収集と合意制度、刑事免責制度」	早稲田大学	小川 佳樹 氏
「供述証拠の収集と身体拘束」	名古屋大学	宮木 康博 氏

分科会Ⅲ「自由刑・施設内処遇の改革」

小野記念講堂

「企画の趣旨」	(司会) 九州大学	武内 謙治 氏
「刑罰論からの検討」	中央大学	高橋 直哉 氏
「処遇論からの検討」	一橋大学	本庄 武 氏
「行刑規律論からの検討」	龍谷大学	赤池 一将 氏
「被収容者処遇に関する実証研究からの検討」	神奈川大学	新海 浩之 氏

【第2日】6月4日（日）

研究報告（9：00～12：00）

大隈講堂

「法益主体の同意と規範的自律」	明治大学	菊地 一樹 氏
「幫助の処罰根拠としての因果性」	東洋大学	小野上 真也 氏
「犯罪捜査を目的とした情報技術の利用とその規律」	筑波大学	尾崎 愛美 氏
「受刑者を親にもつ子どもについて考える」	琉球大学	矢野 恵美 氏

休憩（12：00～13：15）

講演（13：15～14：15）

大隈講堂

「刑罰の制裁としての特殊性について ―― 理論状況の解明の試み」		
ドイツ・フンボルト大学	ルイス＝グレコ教授	
（司会・通訳）中央大学	井田 良 氏	

総会（14：15～14：25）

ワークショップ（14：40～17：40）

8号館

1. 情報刑法		（千葉大学	西貝 吉晃 氏）
2. 正当防衛		（慶應義塾大学	坂下 陽輔 氏）
3. 不作為犯構成		（同志社大学	十河 太郎 氏）
4. 新しい性犯罪規定の解釈論（対面のみ）		（立命館大学	嘉門 優 氏）
5. 医事刑法における手続化		（獨協大学	神馬 幸一 氏）
6. 国際犯罪捜査（対面のみ）		（東京大学	成瀬 剛 氏）
7. 犯罪被害者情報の保護（対面のみ）		（中央大学	滝沢 誠 氏）
8. 違法収集証拠排除法則（対面のみ）		（一橋大学	緑 大輔 氏）
9. 再審における証拠開示		（龍谷大学	斎藤 司 氏）
10. 大麻規制の諸問題（対面のみ）		（立正大学	丸山 泰弘 氏）
11. 更生緊急保護（対面のみ）		（福島大学	高橋 有紀 氏）
12. 再犯防止推進計画		（静岡大学	正木 祐史 氏）
13. 批判的犯罪学（対面のみ）		（甲南大学	松原 英世 氏）

※（対面のみ）の記載がないものは、オンライン併用（ハイフレックス）